

世界の民族伝統医療に学ぶ日本の医療

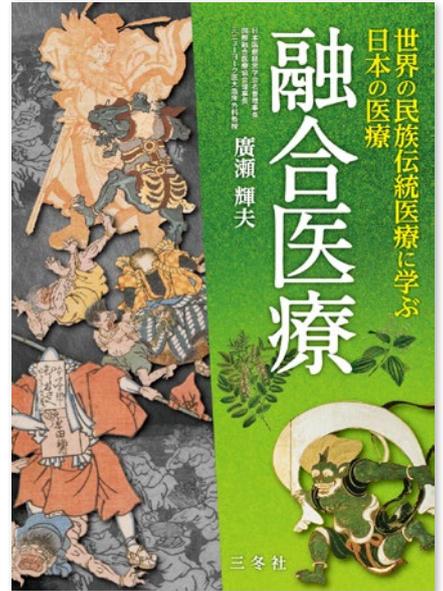
# 融合医療

日本医療経営学会名誉理事長  
国際融合医療協会理事長  
元ニューヨーク医大臨床外科教授

廣瀬 輝夫 著

なるべく自然に近い治療がいい……

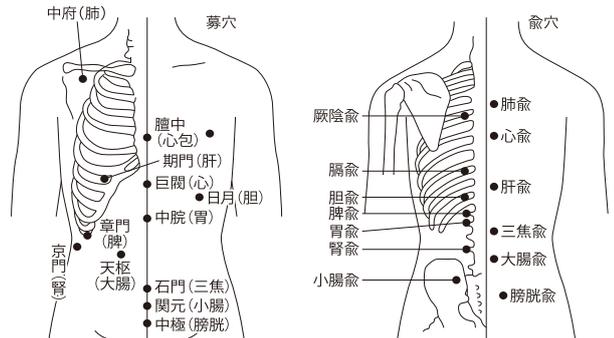
体への負担、コスト面などから、世界は民族伝統医療を近代西洋医学に融合させて治療を行っている。心臓外科においても、輸血は他人の血を入れ患者の体の負担になる。患者の負担を考えて、近代医療に自然治療に近い民族伝統医療を融合させる治療がいい。



- ISBN978-4-86563-027-5
- A5判 / 224頁
- 本体価格2,000円+税

目次 近代医療と民族伝統医療の融合を考えるために

- 第1章 融合医療のすすめ
- 第2章 西洋医学の源泉「ユナニ医学と生薬療法」を探る
- 第3章 アーユルヴェーダ
- 第4章 中国の伝統医療
- 第5章 ネパール、モンゴル、チベット自治区におけるチベット医学
- 第6章 日本独自の民族医療と近代医療の融合を
- 第7章 融合医療における漢方・和漢薬の処方
- 第8章 漢方・和漢薬によるがん患者への対策
- 第9章 補助食品
- 第10章 融合医療における実証
- 第11章 発展途上国-新興国の融合医療
- 付録 世界の民族伝統医療での生薬リスト



■世界の生薬リスト  
日本の民間薬、東南アフリカの生薬、主要漢方生薬の成分・用途・効用、モンゴルにおける主要な生薬、南米の主要生薬など収録。

近代および民族医療共通生薬				
生薬名	英語名	日本語名	薬効	使用物
Aloe ferox	Cape aloe	アロエ	Glycoprotein 傷治療 緩下剤	葉
Afropa belladonna	Deadly nightshade	イヌホオズキ	Atropin 瞳孔収縮剤 徐脈剤	葉
Cabbabis africa	Marijuana	大麻	Marijuana 麻薬 鎮痛剤	根
Cassine transvaalensis	Saffronwood	桂皮	Senna 健胃剤 緩下剤	樹皮
Cinchona pubescens	Quinine tree	キニーネ	Quinine 抗マラリア剤	樹皮
Eucalyptus globulus	Eucali	ユーカリ	Eucali 抗鼻炎 風邪薬	葉
Glycyrrhiza glabeus	Liquorice	甘草	Liquorice 鎮咳剤 風邪薬	根
Papaver somniferum	Opium poppy	罌子	Opium 麻薬 鎮痛剤	実
Quinsia amara	Bitter amara	苦木	Quinsiasoid 食欲増進剤	草木
Taxus baccata	Yew tree	イチイ	Taxol 抗癌剤	葉



廣瀬 輝夫 (ひろせ・てるお)

1926年 東京に生まれる  
1948年 千葉大学医学部卒業。  
卒業後に中山外科でがん手術の研究。  
1954年 心臓外科研究のために渡米。  
1957年 帰国、千葉大学医学部講師に就任。  
1958年 再渡米しニューヨークで研究、医療活動に従事。  
1974~1989年 ニューヨーク医科大学臨床外科教授。  
2000~2006年 秀明大学医療経営学学科長、主任教授。  
現在、日本医療経営学会名誉理事長。

世界初無輸血開心術のための無血人工心肺開発、冠動脈バイパス手術、自家組織を用いた心臓弁の再建術などの新術式を開発。東洋人初の米国胸部外科学会評議員など国際諸医学会評議員を歴任。約120カ国、3万人の手術を行う。数々の業績により、米国医師会功労賞を受賞。

キトリ線

お近くの書店へお出してください 全国の書店・Amazonなどでお求めいただけます

世界の民族伝統医療に学ぶ 日本の医療	<b>融合医療</b> 廣瀬 輝夫 著	ISBN978-4-86563-027-5 定価：本体2,000円+税	冊	書店名 / 販売店
お名前				申込日 年 月 日
住所 〒				
TEL				